

# 新生カナデンブレイン発足

## LPG情報システムのリーディングカンパニーめざす

### 業界を知り抜いたシステムで

## 変革の時代をサポート

カナデン(佐田憲彦社長)の情報システム事業部門と、グループ会社でLPGガス業界向け経営基幹システム専門子会社、エルピーシーブレイン(福岡市、植田哲雄社長)、システムサービス会社のカナテックを統合し、1日付で新会社、カナデンブレインが発足した。

エネルギー間競争の激化、顧客ニーズの多様化などでLPGガス業界は大きな変化の時を迎え、LPGガス事業者には保安の高度化、業務の合理化に加え、事業の革新、業態変革が求められるようになってきている。

新生・カナデンブレインは、これまで分散していた経営資源を統合、再配置することで新たな業界課題への対応力を強化し、LPGガス情報システムのリーディングカンパニーをめざす。

資本金は1億2000万円、社長には植田哲雄カナデン執行役員情報システム事業部長兼LPG

ブレイン社長が就き、本社を東京、事業所を名古屋、大阪、福岡に配置してLPGガス事業に必要な知識、資格を持つ営業マン、サービスエンジニアなど総勢60人体制でスタートした。

経営方針は、「ユーザーから信頼されるソリューション企業をめざす」「人材育成に努め社員に夢と誇りを持って会社をめぐす」の二つ。単にシステムを販売するだけでなく、それぞれのユーザーに合ったシステム構築に参画することで、経営的な視点から課題解決の支援策を提供していくことを目標としている。

主力商品は統合情報ネットワークシステム「SuperX」。

エネルギー間競争に対応し、顧客サービスの向上と、より付加価値の高い企業をめざすLPGガス事業者へのサポートを目的に開発したもので、卸業務、配送管理、直売管理、保

安管理など九つの基幹システムをベースに、集中監視連携、顧客管理、CTI、ASPなど多数のサブシステムを自在に構築し、統合的な情報処理が行える。すべてのデータを明細形式で保持し、この明細には会計の補助簿としてのデータから各種情報までを含んでいるうえ、完全オープンシステムであるのが特徴。

このためデータベースから、必要な情報を自在に抽出・加工でき、更新時と集計形式でデータを保持する従来型システムやホスト型システムでは困難だったさまざまな角度からの分析、現状把握が可能になる。例えば、「リンクAの顧客で給湯器の設置7年以上の顧客のリストが欲しい」といった場合、たちどころに作成できる。

また、既存の集中監視システムや充填システムと連携も可能だし、卸・

直売業務で各社が独自に定めるルールを、個別取引にそのまま反映できる。

オープンツール「マシカルコンポ」を使えば、これらの情報を簡単にノ

ンプログラミングで活用できる。さまざまな業務で入力した情報を蓄積していくだけで、社内の誰もが手軽に有効活用できるわけだ。

市販ソフトとの連携も

自在。ソフト障害時にはオンラインによるサポート、ハード障害時には各メーカーとの連携による保守サポートと、万全のメンテナンス体制を整えている。

「我々の意向を汲んでシステムを作ってもらえることが今まで長くお付き合いできた大きなポイントだと思う。」

特に、あらためて保安管理の重要性が指摘されているいま、メータ、ガス警報器など期限管理が必要な機器を顧客毎に一元的に管理できることなどは天下一品だと思

### 新生・カナデンブレインに期待する (順不同)

## 人間関係大切に 全国展開を

ツバメガスフロンティア(福岡市) 和田 静樹 社長

LPGブレインさんのシステムは昭和58年、まず卸部門から導入を開始し、その後、配送、直売、



保安へと拡大し現在に至っている。

当初は伝票類が漢字で表示できる、正確なメータ数が認識できるといった素朴な驚きからスタートしたが、課題が生じるたびに双方でミーティングを重ね、解決し、改良してきた経緯がある。

これらの作業を通じて感じたことは、LPGブレインという会社は我々が出すアイデアや意見がシステムに反映させるため、何とかしようという強い情熱を持った、行動力がある、植田イズムが浸透した会社であるとい

## 新たな業界ニーズに応え 一段と飛躍を

西部ガスエネルギー (福岡県粕屋町) 遠藤恭介 社長



「SuperX」を採用し、今年10月の稼働開始をめぐり調定(直売、

保安、配送、卸売りのすべての基幹業務とお客様とのインターフェースであるCTIシステムを一元管理できるシステムの構築をめざして取り組んでいるところだ。

「SuperXはオープン系のデータベースを使っているため、管理者

その時々目的に沿った集計、加工が自由にできること、JOB管理などオフコンのメリットを備えていることを評価した。

新しいシステムでは、入力データの即時反映やデータ検索の自由度が向上したことにより、お客様に対して迅速かつ適切な対応ができるようになった。また、ハンディターミナルやPDAなどを使用することを期待している。

LPGガス業界はいま大きな変革の時代を迎えている。LPGブレインとして、これまでLPGガス事業を専門に取り組んでこられたシステム開発のノウハウを生かし、業界の新たなニーズに応えるシステムを開発することにより、システム会社として一段と飛躍されることを期待している。